

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	リエブラッツ阿波座		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 8日		2026年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 8日		2026年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種(児発管、療法士、児童指導員、元小学校教諭)できめ細やかに評価し支援しています。 ・感覚プロファイル、SM社会生活能力検査などの客観的評価表を用いて個別支援計画書を作成し支援に繋がっています。	毎週1回のケース共有に加えて、ケース検討の機会を持ち、多職種かつ専門的な視点で子どもについての課題点、強み、保護者・本人のニーズを理解について深めています。	うまく行った方法をご家庭や学校でも取り組んでもらえるよう連携し、相乗効果で子どもの可能性を広げられたらと考えます。
2	多種多様なプログラムを実施しています。 運動面、認知面、コミュニケーション、社会性を育むものだけでなく季節のイベントも企画しています	毎日の日課の中に時間管理、金銭管理や係り活動、多数決したり自分の意見を発表する機会があり、遊びの中でライフスキルが身につくように工夫しています。	子どもたちが自らプログラムを企画したり、グループディスカッション、思春期特有の悩み相談、性教育なども行っていきたいと考えます。
3	午前中に不登校児支援を実施しています。 事業を開始してから2年が経ち、利用されるお子さんが増えたことから、地域のニーズに根ざした支援ができていると感じます	他の子どもとの関わりに抵抗感がある子には1対1からの個別療育から少しずつ小集団に移行できるよう配慮しています。	地域の子ども部会で不登校支援について共有するなど地域で子どもやご家庭を支援が出来たらと考えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	フロアの敷地が十分では無い。	集中できる環境づくりのために随時パーティションを使用して集中できる環境を作っています。	学習スペースとフリースペースを分けたり、動線を整えたり、整理整頓を心がけています。
2	地域の他の子どもとの交流や保護者会等の機会がほとんどできておりませんでした。	2026年3月に初めて進路相談という保護者会の開催を予定しています。また、地域交流として地域のバザーに参加や出展なども行っていきたいと考えています。	進路説明会については独自での情報収集に加えて関係連携機関や地域の子ども部会と連携し、社会課題について取り組んでいきたいと考えます。
3			